

平成 30 年度

運営に関する計画 (最終評価)

大阪市立加美南部小学校

大阪市立加美南部小学校 平成 30 年度 運営に関する計画・自己評価（総括シート）

1 学校運営の中期目標

現状と課題

本校の児童は、素直で子どもらしさにあふれる反面、自ら進んで意欲的に学習したり、物事を正しく判断して行動したりする面は弱い。また、不登校や遅刻、登校しても集団になじめない児童も見受けられ、家庭との連携を含めた生活指導が不可欠である。

知育面では、習熟度別少人数指導や校内授業研究など校内指導や研究の充実を図ってきている。しかし、基礎・基本の定着がいまだ十分とはいえない。そこで、反復練習やきめ細かな指導に力を注いでいく必要がある。また、研究を進めている国語科においては、言語活動を活発にすることやコミュニケーション力を高めることをめざし、物語文への読解力向上に取り組みが求められる。

德育面では、「自己肯定感」や「自尊感情」の認識があまりなく、自分の良さや自分らしさに自信をもてない児童が多い。学校生活のあらゆる機会をとらえて、その子の存在を認めていくことが必要である。また、豊かな心を育てるための様々な施策を考え、たてわり班活動や体験活動、飼育・栽培活動を中心に実践していく必要性がある。

体育面では、平成 28 年度の全国体力・運動能力・運動習慣等調査の結果、「50m走」以外では男女とも全国平均を下回った。「長座体前屈」や「立ち幅とび」、「反復横とび」の数値が特に低い。走力だけでなく児童の総合的な体力・運動能力向上をめざし、年間を通じて運動に親しませる習慣の定着を図ることが課題である。

中期目標**【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】**

- 平成 29 年度～32 年度の年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を 95 %以上にする。
- 平成 32 年度の小学校学力経年調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える児童の割合を 90 %以上にする。
- 毎年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害児童数を前年度より減少させる。
- 毎年度末の校内調査において、新たに不登校になる児童の割合を前年度より減少させる。
- 平成 32 年度「児童アンケート」における「自分には信頼できる（仲の良い）友だちがいる」の質問に肯定的回答をする児童の割合を 90 %以上にする。
- 平成 32 年度「児童アンケート」における「読書が好きですか」の質問に肯定的回答をする児童の割合を 75 %以上にする。
- 平成 32 年度「保護者アンケート」における「学校は校内美化（校内環境）に気を配っている」の質問に肯定的回答をする保護者の割合を 80 %以上にする。
- 平成 32 年度「保護者アンケート」における「子どもたちは、自分からあいさつができる」の質問に肯定的回答をする保護者の割合を 80 %以上にする。

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

- 平成 32 年度の小学校学力経年調査における標準化得点を、平成 28 年度より向上させる。（標準化得点とは、各年度の調査の本市の平均正答数が、それぞれ 100 となるよう標準化した得点のこと）

- 平成 32 年度の小学校学力経年調査における正答率 5 割 5 分以下の児童を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より 5 ポイント減少させる。
- 平成 32 年度の小学校学力経年調査における正答率 7 割 5 分以上の児童を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より 5 ポイント増加させる。
- 平成 32 年度の小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、平成 28 年度より増加させる。
- 平成 32 年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査において、特に課題である（反復横とびと立ち幅とび）の平均の記録を、平成 28 年度より 5 ポイント向上させる。
- 平成 32 年度「児童アンケート」における「授業はわかりやすい」と答える児童の割合を 80 % 以上にする。
- 平成 32 年度「児童アンケート」における「朝食を食べている」と答える児童の割合を 90 % 以上にする。
- 平成 32 年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点を、平成 28 年度より 3 ポイント向上させる。

2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】

全市共通目標（小・中学校）

- 平成 30 年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を 95 % 以上にする。
- 平成 30 年度の小学校学力経年調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える児童の割合を 80 % 以上にする。
- 平成 30 年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害児童数を前年度より減少させる。
- 平成 30 年度末の校内調査において、新たに不登校になる児童の割合を前年度より減少させる。

学校園の年度目標

- 平成 30 年度「児童アンケート」における「自分には信頼できる（仲の良い）友だちがいる」の質問に肯定的回答をする児童の割合を 80 % 以上にする。
- 平成 30 年度「児童アンケート」における「読書が好きですか」の質問に肯定的回答をする児童の割合を 70 % 以上にする。
- 平成 30 年度「保護者アンケート」における「学校は校内美化（校内環境）に気を配っている」の質問に肯定的回答をする保護者の割合を 75 % 以上にする。
- 平成 30 年度「保護者アンケート」における「子どもたちは、地域などで、あいさつができる」の質問に肯定的回答をする保護者の割合を 75 % 以上にする。

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

全市共通目標（小・中学校）

- 平成 30 年度の小学校学力経年調査における標準化得点を、同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。
- 平成 30 年度の小学校学力経年調査における正答率が市平均の 7 割に満たない児童の割合を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より 3 ポイント減少させる。
- 平成 30 年度の小学校学力経年調査における正答率が市平均を 2 割以上上回る児童を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より 3 ポイント増加させる。
- 平成 30 年度の小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分

- の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、前年度より増加させる。
- 平成 30 年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査において、特に課題である（反復横とびと立ち幅とび）の平均の記録を、平成 28 年度より 3 ポイント向上させる。
- 学校園の年度目標**
- 平成 30 年度「児童アンケート」における「授業はわかりやすい」の質問に肯定的回答をする児童の割合を 75% 以上にする。
 - 平成 30 年度「児童アンケート」における「朝食を食べている」の質問に肯定的回答をする児童の割合を 90% 以上にする。
 - 平成 30 年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点を、平成 28 年度より向上させる。

3 本年度の自己評価結果の総括

【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】

全市共通目標（小・中学校）

- 平成 30 年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を 95% 以上にする。
すべてに対応し、解決を図った。：目標どおりに達成した
- 平成 30 年度の小学校学力経年調査・校内調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える児童の割合を 80% 以上にする。
平成 29 年度 88.0% 平成 30 年度 88.8% : 目標どおりに達成した
- 平成 30 年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害児童数を前年度より減少させる。
0名 ⇒ 1名 : 取り組んだが目標を達成できなかった
平成 30 年度末の校内調査において、新たに不登校になる児童の割合を前年度より減少させる。
0.23% (1名) ⇒ 0.24% (1名) : 取り組んだが目標を達成できなかった

学校園の年度目標

- 平成 30 年度「児童アンケート」における「自分には信頼できる友だちがいる」の質問に肯定的回答をする児童の割合を 80% 以上にする。
1学期末: 88.8% 2学期末: 91.8% : 目標を上回って達成した
- 平成 30 年度「児童アンケート」における「読書が好きですか」の質問に肯定的回答をする児童の割合を 70% 以上にする。
1学期末: 77.2% 2学期末: 74.2% : 目標を上回って達成した
- 平成 30 年度「保護者アンケート」における「学校は校内美化（校内環境）に気を配っている」の質問に肯定的回答をする保護者の割合を 75% 以上にする。
1学期末: 89.1% 2学期末: 84.6% : 目標を上回って達成した
- 平成 30 年度「保護者アンケート」における「子どもたちは、地域などで、あいさつができる」の質問に肯定的回答をする保護者の割合を 75% 以上にする。
1学期末: 89.6% 2学期末: 83.2% : 目標を上回って達成した

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

全市共通目標（小・中学校）

- 平成 30 年度の小学校学力経年調査における標準化得点を、同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。
3年⇒4年 … 102.2 ⇒ 97.0 : 取り組んだが目標を達成できなかった

- 4年⇒5年 … 95. 6 ⇒ 98. 1 :目標を上回って達成した
- 5年⇒6年 … 95. 1 ⇒ 96. 6 :目標どおりに達成した
- 平成 30 年度の小学校学力経年調査における正答率が市平均の 7 割に満たない児童の割合を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より 3 ポイント減少させる。
- 3年⇒4年 … 3. 2% ⇒ 20. 9% :取り組んだが目標を達成できなかった
- 4年⇒5年 … 10. 3% ⇒ 15. 4% :取り組んだが目標を達成できなかった
- 5年⇒6年 … 13. 4% ⇒ 20. 3% :取り組んだが目標を達成できなかった
- 平成 30 年度の小学校学力経年調査における正答率が市平均を 2 割以上上回る児童を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より 3 ポイント増加させる。
- 3年⇒4年 … 7. 9% ⇒ 20. 9% :目標を上回って達成した
- 4年⇒5年 … 10. 3% ⇒ 15. 5% :目標どおりに達成した
- 5年⇒6年 … 11. 9% ⇒ 21. 5% :目標を上回って達成した
- 平成 30 年度の小学校学力経年調査（校内調査）における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、前年度より増加させる。
- 平成 29 年度 68. 8% 平成 30 年度 63. 7% :取り組んだが目標を達成できなかった
- 平成 30 年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査において、特に課題である（反復横とびと立ち幅とび）の平均の記録を、平成 28 年度より 3 ポイント向上させる。
- 反復横とび 平成 28 年度 36 回 平成 30 年度 41 回 :目標を上回って達成した
- 立ち幅とび 平成 28 年度 127. 2 cm 平成 30 年度 148. 5 cm :目標を上回って達成した

学校園の年度目標

- 平成 30 年度「児童アンケート」における「授業はわかりやすい」の質問に肯定的回答をする児童の割合を 75% 以上にする。
- 1 学期末 : 84. 7% 2 学期末 : 87. 6% :目標を上回って達成した
- 平成 30 年度「児童アンケート」における「朝食を食べている」の質問に肯定的回答をする児童の割合を 90% 以上にする。
- 1 学期末 : 91. 6% 2 学期末 : 94. 1% :目標を上回って達成した
- 平成 30 年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点を、平成 28 年度より向上させる。
- 平成 28 年度 51. 0 平成 30 年度 53. 4 :目標を上回って達成した

今年度、大阪市教育振興基本計画における 2 つの最重要目標（①子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現・②心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上）の達成に向けて取組をすすめた結果、年度目標においては、①については、8 項目中 6 項目を、また、②については、15 項目中 10 項目を、目標を上回って達成した、または、目標どおりに達成することができた。また、年度目標の達成に向けた取組内容（6 施策）については、取組内容の指標をほとんどすべて達成することができ、一定の成果を上げることができた。しかし、依然として、自ら進んで意欲的に学習すること、物事を正しく判断し、行動することに課題のある子どもも、また、不登校や遅刻、登校しても集団になじめない子どもも見受けられる。今後も自主学習習慣づくりを含めた基礎学力の定着と家庭との連携を含めた生活指導の充実が不可欠である。

知育面では、基礎学力の確実な定着、「授業の充実」、教員の指導力向上に向けて、研究教科を「算数」と定め、主体的・対話的で深い学びをする児童の育成をめざし、校内研究に取り組んだ。また、子どもたちの基礎学力の定着につながる読書力向上に向けて、学校図書館の整備等をすすめてきた。

移動書架ブックトラック【校長経営戦略支援予算：基本配付】を活用した学校図書館・教室の蔵書の分類、整理や高学年用の長机（スタッガ式）・椅子【校長経営戦略支援予算：加算配付】を活用した学習活動をすすめることができた。今年度も平野区ひらちゃん読書ノートの取組において、88名の児童が区長表彰を受けた。子どもたちのよりよい読書習慣が定着しつつある。

今後も、子どもたちの基礎・基本の定着には、反復練習が不可欠であり、自主学習習慣づくり・家庭学習習慣づくりに取り組んでいく必要がある。

德育面では、学校安心ルールを運用し、基本的生活習慣の確立と規範意識の醸成、また、たてわり班を基盤とした仲間づくりに取り組んだ。「授業規律」の確保など、一定の成果を上げている。

今後も、より望ましい児童集団を実現するために、子どもたちの内面からの成長を促す指導をすすめていきたい。

体育面では、「水泳記録会」「かけあし記録会」「なわとび大会」等の行事を通して、子どもたちの体力づくりに取り組むことで、子どもたちの「運動」へ取り組む意識が高まった。全国体力・運動能力、運動習慣等調査においても、課題であった「反復横とび」、「立ち幅とび」の数値が着実に上昇し、体力合計点（本校平均：53.4）もほぼ大阪市平均（53.6）となった。また、食育を推進することで、子どもたちの「食」に対する意識が高まり、給食では「残食0」が実現しつつある。

今後も、子どもたちが、自主的に健康管理及び規則正しい生活習慣を身につけることができるよう、取組をすすめていく必要がある。

大阪市立 加美南部小学校 平成30年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかつた	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかつた

年度目標	達成状況
<p>【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】</p> <p>全市共通目標（小・中学校）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 平成30年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を95%以上にする。 ○ 平成30年度の小学校学力経年調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える児童の割合を80%以上にする。 ○ 平成30年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害児童数を前年度より減少させる。 ○ 平成30年度末の校内調査において、新たに不登校になる児童の割合を前年度より減少させる。 <p>学校園の年度目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 平成30年度「児童アンケート」における「自分には信頼できる（仲の良い）友だちがいる」の質問に肯定的回答をする児童の割合を80%以上にする。 ○ 平成30年度「児童アンケート」における「読書が好きですか」の質問に肯定的回答をする児童の割合を70%以上にする。 ○ 平成30年度「保護者アンケート」における「学校は校内美化（校内環境）に気を配っている」の質問に肯定的回答をする保護者の割合を75%以上にする。 ○ 平成30年度「保護者アンケート」における「子どもたちは、地域などで、あいさつができる」との質問に肯定的回答をする保護者の割合を75%以上にする。 	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すべての児童にとって、安全で安心な教育活動を推進する。 ・安全教育、防災・減災教育を推進する。 <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校行事・泊を伴う行事等において、安全で安心な教育環境を確保するために、指導員・看護師等を配置する。 ・交通安全教室（年1回以上）を実施する。 ・地域、関係機関と連携した防災体験学習（年1回以上）を実施する。 	B

<p>取組内容②【施策2 道徳心・社会性の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あいさつ、きまりや時間を守ること、清掃の大切さを理解させる。 ・キャリア教育の充実を図る。 <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「生活指導強調週間」(年3回以上)等を充実させることで、遅刻をしなかった児童の割合を90%以上にする。児童会を中心に「あいさつ運動」(年間10日以上)、「美化点検週間」(年20回以上)実施する。 ・職業講話・職業体験学習等(年1回)を取り組む。 	B
<p>取組内容③【施策3 地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校図書館の整備(蔵書の整理、データベース化等)に努めるとともに、児童の読書活動の活性化を図る。 ・地域・進学中学校との交流行事を実施する。 <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校図書館の整備(蔵書の分類・整理、データベース化等)をすすめる。また、学校図書館の開館(年間200回以上)、学校図書館を活用した学習(各学級各学期に1回以上)を行う。 ・地域人材を活用し、茶道教室、グラウンドゴルフ、絵手紙教室等を1回以上実施する。 	B
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
【子どもが安心して成長できる安全な社会(学校園・家庭・地域)の実現】	
<p>全市共通目標(小・中学校)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 平成30年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を95%以上にする。 すべてに対応し、解決を図った。:目標どおりに達成した ○ 平成30年度の小学校学力経年調査・校内調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える児童の割合を80%以上にする。 平成29年度 88.0% 平成30年度 88.8% :目標どおりに達成した ○ 平成30年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害児童数を前年度より減少させる。 0名 ⇒ 1名 :取り組んだが目標を達成できなかった 平成30年度末の校内調査において、新たに不登校になる児童の割合を前年度より減少させる。 0.23%(1名) ⇒ 0.24%(1名) :取り組んだが目標を達成できなかった 	
<p>学校園の年度目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 平成30年度「児童アンケート」における「自分には信頼できる友だちがいる」の質問に肯定的答える児童の割合を80%以上にする。 1学期末: 88.8% 2学期末: 91.8% :目標を上回って達成した ○ 平成30年度「児童アンケート」における「読書が好きですか」の質問に肯定的答える児童の割合を70%以上にする。 1学期末: 77.2% 2学期末: 74.2% :目標を上回って達成した ○ 平成30年度「保護者アンケート」における「学校は校内美化(校内環境)に気を配っている」の質問に肯定的答える保護者の割合を75%以上にする。 1学期末: 89.1% 2学期末: 84.6% :目標を上回って達成した 	

- 平成 30 年度「保護者アンケート」における「子どもたちは、地域などで、あいさつができる」との質問に肯定的回答をする保護者の割合を 75% 以上にする。

1 学期末 : 89.6% 2 学期末 : 83.2% : 目標を上回って達成した

取組内容①

- ・学生ボランティア、指導員、特別支援教育関係員等を活用することで、学校行事（運動会、遠足等）、泊を伴う行事（5年林間学習、6年修学旅行）等を子どもにとってより安全に実施することができた。
- ・6月2日（土）・10月16日（火）、平野警察署と連携した交通安全教室を実施した。
- ・6月21日（木）、大阪府少年サポートセンターと連携した非行防止・犯罪被害防止教室を実施した。
- ・避難訓練を、以下のとおり、年4回実施した。

6月1日（金）：火災を想定した避難訓練

10月20日（土）：保護者参加のもと、地震を想定した防災学習（避難訓練）

11月1日（木）：平野警察署と連携し、不審者を想定した避難訓練

1月24日（木）：地震・津波を想定した避難訓練

取組内容②

- ・「生活指導強調週間」（学期に1回）を実施することができている。95%以上の児童が日々遅刻することなく、登校している。
- ・1月21日（月）～2月8日（金）、あいさつ運動を実施した。
- ・美化点検は、毎週金曜日に健康委員会（養護教員指導のもと）によって、31回（2月22日現在）行った。
- ・キャリア教育の一環として、1月23日（水）に6年職業体験学習（キッザニア甲子園）、1月24日（木）、オリックス・バッファローズより講師を招き、5年職業講話を実施した。

取組内容③

- ・校長経営戦略支援予算【基本配付】で購入した移動書架ブックトラックを活用し、学校図書館・教室の蔵書の分類、整理等をすすめることができた。また、校長経営戦略支援予算【加算配付】で購入した学習用の長机（スタッガード式）と高学年用のいすを活用した学習活動を実施することができた。
- ・図書館開館は、毎日昼夜と火曜日終日を行っている。学校図書館の開館の回数は408回（2月22日現在）
- ・地域連携の一環として、10月31日（水）にグラウンドゴルフ、11月20日（火）に茶道教室12月14日（金）に絵手紙教室を実施した。
- ・小中連携の一環として、11月27日（火）に加美南中学校体験授業、3月6日（水）に加美南中学校部活動見学を実施した。

今後の改善点

学校安心ルールを運用し、基本的生活習慣の確立と規範意識の醸成、また、たてわり班を基盤とした仲間づくりに取り組み、「授業規律」の確保など、一定の成果を上げることができた。

今後は、より望ましい児童集団を実現するために、児童によるあいさつ運動の活性化など、子どもたちの内面からの成長を促す指導をすすめることが必要である。

子どもたちの基礎学力の定着につながる読書力向上に向けて、2年間を通して、学校図書館の整

備等をすすめてきた。学校図書館・教室の蔵書の分類、整理がすすんだことで、子どもたちのよりよい読書習慣が定着した。また、学校図書館の高学年用の長机（スタック式）・椅子を活用した学習活動等が充実してきた。

今後も、子どもたちの基礎・基本の定着には、反復練習が不可欠であり、家庭学習習慣づくりに取り組んでいく必要がある。

取組内容の①～③の次年度への改善点は以下のとおりである。

- ① 今後も日常的な安全点検等を充実させることで、子どもにとって安心・安全な教育環境づくりをすすめていく必要がある。
- ② あいさつ運動は、3学期に約2週間実施したが、子どもが主体的に行うあいさつ運動は、効果が高いと思われる所以、次年度からは、各学期に1回（2週間程度）あいさつ運動を行う予定である。
- ③ 2年間を通して、学校図書館の整備（蔵書の分類・整理、データベース化等）をすすめることができたので、子どもの読書活動や学校図書館を活用した学習活動等の一層の充実を図りたい。

大阪市立 加美南部小学校 平成30年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかつた	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかつた

年度目標	達成状況
<p>【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】</p> <p>全市共通目標（小・中学校）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 平成30年度の小学校学力経年調査における標準化得点を、同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。 ○ 平成30年度の小学校学力経年調査における正答率が市平均の7割に満たない児童の割合を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より3ポイント減少させる。 ○ 平成30年度の小学校学力経年調査における正答率が市平均を2割以上上回る児童を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より3ポイント増加させる。 ○ 平成30年度の小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、前年度より増加させる。 ○ 平成30年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査において、特に課題である（反復横とびと立ち幅とび）の平均の記録を、平成28年度より3ポイント向上させる。 <p>学校園の年度目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 平成30年度「児童アンケート」における「授業はわかりやすい」の質問に肯定的回答をする児童の割合を75%以上にする。 ○ 平成30年度「児童アンケート」における「朝食を食べている」の質問に肯定的回答をする児童の割合を90%以上にする。 ○ 平成30年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点を、平成28年度より向上させる。 	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容④【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少人数授業（TT・習熟度）等の指導法の研究や指導力の向上に取り組む。 ・放課後を活用した学習機会をつくる。 ・学習意欲の原動力となる「心」への教育刺激として、すぐれた芸術にふれる機会や社会見学等の機会をつくる。 	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員の研究授業を年間20回以上実施する。 ・教育指導員等を指導要請し、研究授業・研究協議を実施する。 ・放課後ステップアップ事業を活用した学習機会を提供する。 ・「芸術鑑賞会」（全学年：年1回）や社会見学（全学年：年1回）実施する。 	B

<p>取組内容⑤【施策 6 国際社会において生き抜く力の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すべての児童の「わかる・できた」をめざした授業づくりに努める。 ・互いの違いを認め合い、自他を尊重する態度を育成する。 <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学級、学習室等で、ＩＣＴ機器（タブレット・電子辞書等）を活用した学習指導を毎月1回以上実施する。 ・人権にかかわる体験学習（全学年：年1回）、教職員研修（年1回）等を実施する。 	B																																																						
<p>取組内容⑥【施策 7 健康や体力を保持増進する力の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すべての児童にとって、学びやすく、安全・安心な校内環境、教育環境づくりに努め、自主的な健康管理及び規則正しい生活習慣の態度を育てる。 ・体育的行事や「体力づくりにつながる遊び」を充実させて、豊かな感性を育むとともに、児童の体力向上を図る。 <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「救急救命」、「熱中症対策」、「食物アレルギー対応」等の教職員研修を年1回以上実施する。 ・「保健だより」、「えいようだより」を月1回発行し、家庭（保護者）への啓発をすすめる。 ・水泳記録会への参加、かけあし記録会、ドッジボール大会、大なわ大会、なわとび大会等を行う。 	B																																																						
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析																																																							
【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】																																																							
<p>全市共通目標（小・中学校）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 平成30年度の小学校学力経年調査における標準化得点を、同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。 <table style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>3年⇒4年</td> <td>…</td> <td>102.2</td> <td>⇒</td> <td>97.0</td> <td>: 取り組んだが目標を達成できなかった</td> </tr> <tr> <td>4年⇒5年</td> <td>…</td> <td>95.6</td> <td>⇒</td> <td>98.1</td> <td>: 目標を上回って達成した</td> </tr> <tr> <td>5年⇒6年</td> <td>…</td> <td>95.1</td> <td>⇒</td> <td>96.6</td> <td>: 目標どおりに達成した</td> </tr> </table> ○ 平成30年度の小学校学力経年調査における正答率が市平均の7割に満たない児童の割合を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より3ポイント減少させる。 <table style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>3年⇒4年</td> <td>…</td> <td>3.2%</td> <td>⇒</td> <td>20.9%</td> <td>: 取り組んだが目標を達成できなかった</td> </tr> <tr> <td>4年⇒5年</td> <td>…</td> <td>10.3%</td> <td>⇒</td> <td>15.4%</td> <td>: 取り組んだが目標を達成できなかった</td> </tr> <tr> <td>5年⇒6年</td> <td>…</td> <td>13.4%</td> <td>⇒</td> <td>20.3%</td> <td>: 取り組んだが目標を達成できなかった</td> </tr> </table> ○ 平成30年度の小学校学力経年調査における正答率が市平均を2割以上上回る児童を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より3ポイント増加させる。 <table style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>3年⇒4年</td> <td>…</td> <td>7.9%</td> <td>⇒</td> <td>20.9%</td> <td>: 目標を上回って達成した</td> </tr> <tr> <td>4年⇒5年</td> <td>…</td> <td>10.3%</td> <td>⇒</td> <td>15.5%</td> <td>: 目標どおりに達成した</td> </tr> <tr> <td>5年⇒6年</td> <td>…</td> <td>11.9%</td> <td>⇒</td> <td>21.5%</td> <td>: 目標を上回って達成した</td> </tr> </table> ○ 平成30年度の小学校学力経年調査（校内調査）における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、前年度より増加させる。 <p style="margin-left: 20px;">平成29年度 68.8% 平成30年度 63.7% : 取り組んだが目標を達成できなかった</p> ○ 平成30年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査において、特に課題である（反復横とびと 		3年⇒4年	…	102.2	⇒	97.0	: 取り組んだが目標を達成できなかった	4年⇒5年	…	95.6	⇒	98.1	: 目標を上回って達成した	5年⇒6年	…	95.1	⇒	96.6	: 目標どおりに達成した	3年⇒4年	…	3.2%	⇒	20.9%	: 取り組んだが目標を達成できなかった	4年⇒5年	…	10.3%	⇒	15.4%	: 取り組んだが目標を達成できなかった	5年⇒6年	…	13.4%	⇒	20.3%	: 取り組んだが目標を達成できなかった	3年⇒4年	…	7.9%	⇒	20.9%	: 目標を上回って達成した	4年⇒5年	…	10.3%	⇒	15.5%	: 目標どおりに達成した	5年⇒6年	…	11.9%	⇒	21.5%	: 目標を上回って達成した
3年⇒4年	…	102.2	⇒	97.0	: 取り組んだが目標を達成できなかった																																																		
4年⇒5年	…	95.6	⇒	98.1	: 目標を上回って達成した																																																		
5年⇒6年	…	95.1	⇒	96.6	: 目標どおりに達成した																																																		
3年⇒4年	…	3.2%	⇒	20.9%	: 取り組んだが目標を達成できなかった																																																		
4年⇒5年	…	10.3%	⇒	15.4%	: 取り組んだが目標を達成できなかった																																																		
5年⇒6年	…	13.4%	⇒	20.3%	: 取り組んだが目標を達成できなかった																																																		
3年⇒4年	…	7.9%	⇒	20.9%	: 目標を上回って達成した																																																		
4年⇒5年	…	10.3%	⇒	15.5%	: 目標どおりに達成した																																																		
5年⇒6年	…	11.9%	⇒	21.5%	: 目標を上回って達成した																																																		

立ち幅とび) の平均の記録を、平成 28 年度より 3 ポイント向上させる。

反復横とび 平成 28 年度 36 回 平成 30 年度 41 回 : 目標を上回って達成した

立ち幅とび 平成 28 年度 127.2 cm 平成 30 年度 148.5 cm : 目標を上回って達成した

学校園の年度目標

- 平成 30 年度「児童アンケート」における「授業はわかりやすい」の質問に肯定的答をする児童の割合を 75 % 以上にする。

1 学期末 : 84.7% 2 学期末 : 87.6% : 目標を上回って達成した

- 平成 30 年度「児童アンケート」における「朝食を食べている」の質問に肯定的答をする児童の割合を 90 % 以上にする。

1 学期末 : 91.6% 2 学期末 : 94.1% : 目標を上回って達成した

- 平成 30 年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点を、平成 28 年度より向上させる。

平成 28 年度 51.0 平成 30 年度 53.4 : 目標を上回って達成した

取組内容④

- ・校内研修計画に基づき、予定どおり全教員が研究授業を実施した。

- ・大阪市小学校研究会区内研究理事、大阪市教育センターより講師を招き、研究授業・研究協議を実施した。

- ・放課後ステップアップ学習会を以下のとおり実施した。(2月 22 日現在)

2 年 : 水曜日放課後 (24 回、参加児童数 のべ 433 名)

3・4 年 : 月曜日放課後 (20 回、参加児童数 のべ 553 名)

5・6 年 : 木曜日放課後 (25 回、参加児童数 のべ 55 名)

- ・5月 21 日 (月)、プロジェクトマッピングを活用した「シンドバットの冒険」(芸術鑑賞会) を実施した。

- ・社会見学を以下のとおり実施した。

1・2 年 : 10 月 4 日 (木)、キッズプラザ大阪

3 年 : 8 月 31 日 (金)、平野図書館、

2 月 28 日 (木) くらしの今昔館

4 年 : 6 月 13 日 (水)、柴島浄水場

5 年 : 12 月 17 日 (月)、朝日新聞社

6 年 : 12 月 7 日 (金)、ピースおおさか

取組内容⑤

- ・タブレットの活用については、6月 6 日 (水) に支援員による研修、6月 28 日 (木) にタブレットを活用した授業研究を行った。また、10月 25 日 (木) に外部講師を招き、P C 教職員研修会を実施した。

- ・人権にかかわる体験学習 (全学年 1 回) を実施した。

- ・11月 5 日 (月)、大阪市教育委員会より講師を招き、人権にかかわる教職員研修 (年 1 回) 等を実施した。

取組内容⑥

- ・6月 7 日 (木)、平野救急隊員を講師に招き、「救命救急」の教職員研修会を実施した。

- ・7月 20 日 (金)、「熱中症対策」の教職員研修を実施した。

- ・2月 1 日 (金)、学校薬剤師を講師に招き、薬物乱用防止教室を開催した。

- ・3月4日（月）、「食物アレルギー対応」の教職員研修を実施した。
- ・「保健だより」、「えいようだより」は、月1回のペースで発行した。
- ・7月31日（火）、大阪市児童水泳記録会に13名の児童が参加することができた。
- ・12月3日（月）、かけあし記録会を実施した。
- ・ドッジボール大会を実施した。〈1月21日（月）：5・6年、1月22日（火）：3・4年、1月23日（水）：1・2年〉
- ・2月21日（木）、大なわ大会を実施した。

今後への改善点

基礎学力の確実な定着、「授業の充実」、教員の指導力向上に向けて、研究教科を「算数」と定め、主体的・対話的で深い学びをする児童の育成をめざした校内研究に取り組んできたが、依然として、自ら進んで意欲的に学習することに課題がある。

今後も、授業での積極的なタブレットやICT機器（プロジェクター等）の活用を図ることで、子どもたちの学習意欲を高め、自主学習習慣づくりをすすめることが不可欠である。

行事等を通して、子どもたちの体力づくりに取り組むことで、子どもたちの「運動」へ取り組む意識が高まり、全国体力・運動能力、運動習慣等調査においても、体力合計点（本校平均：53.4）もほぼ大阪市平均（53.6）となった。また、食育を推進することで、子どもたちの「食」に対する意識が高まり、給食では「残食0」が実現しつつある。

今後も、子どもたちの健康・体力の保持増進を図るため、自主的に健康管理及び規則正しい生活習慣を身につけることができるよう、取組をすすめていく必要がある。

取組内容④～⑥の次年度への改善点は以下のとおりである。

- ④ 研究授業については、子どもの安全確保の視点からも、相互参観等が十分にできない現状もあるので、指導案を充実させることで、研修の充実を図る必要がある。
- ⑤ 校内のLAN環境が十分に整っていない現状もあり、タブレットやICT機器（プロジェクター等）を活用した授業が実施できていない学年・学級がある。タブレットについては、より積極的・効果的に授業に活用できるよう、研修を重ねていくことが必要である。
- ⑥ 今後も食物アレルギー対応やインフルエンザ等の感染症については、引き続き、未然防止や感染予防等に努める必要がある。